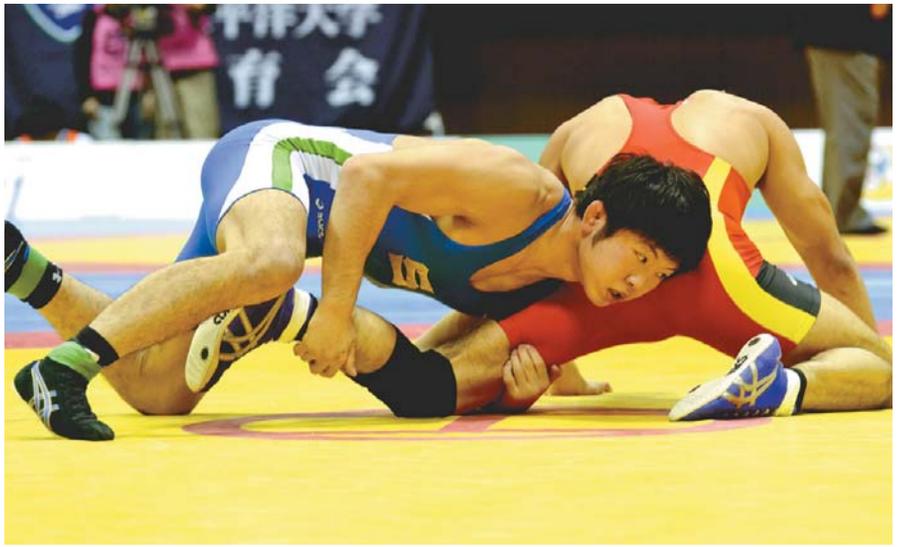


専大スポーツ

No. 322

大会結果、予定は体育会ホームページ(専大ホームページ「スポーツ」からアクセス)でご確認ください
専大スポーツ編集部 web (http://sensupo.web.fc2.com/) でも大会結果を配信しています

レスリング・全日本選手権



▲ 大学最後の大会で健闘した半田主将(撮影・小川)

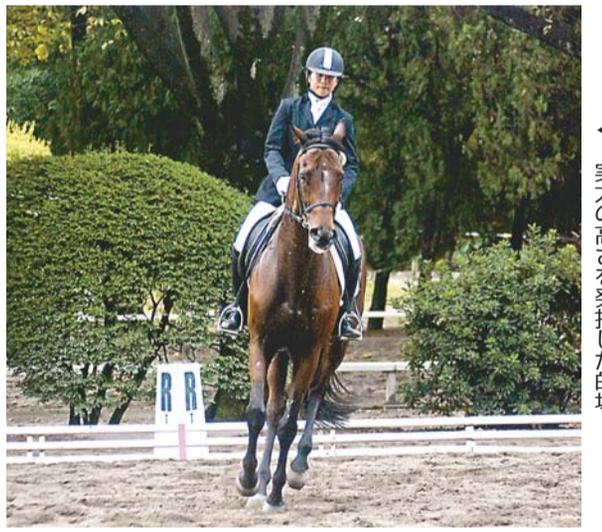
55kg級 フリー 半田主将が準優勝

天皇杯全日本選手権が12月21日から23日まで、代々木第二体育館で行われ、フリースタイル55kg級で半田主将(経営4・網野高)が準優勝となった。半田主将は初戦から積極的にポイントを取っていくレスリングを展開。準決勝では、OBである稲葉泰弘さん(平20経営II警視庁)との同門対決を制し、決勝へと進んだ。決勝の相手は森下(日体大)。先にポイントを取られ自分のペースに持ちこめず、0-2(0-1、0-1)で惜しくも敗退した。それでも昨年6月の全日本選抜選手権よりも一つ順位を上げ、学生最後の大会で有終の美を飾った。

池澤(グレコローマン74kg級)らベスト8に

12月8、9の両日、JRA馬事公苑で全日本学生馬術女子選手権が開催され、的場(経営3・聖隷クリストファー)高が3位に入賞した。今大会は試合ごとに貸与され

「今年度は今までで一番厳しい年だった。自分ごとだけでなく、主将としてチームづくりにも悩んだ。この4年間に悔いはない」と専大での競技生活について振り返った。また、フリースタイル



▲ 実力の高さを発揮した的場

馬術・全日本学生女子選手権 的場が3位に入賞

12月8、9の両日、JRA馬事公苑で全日本学生馬術女子選手権が開催され、的場(経営3・聖隷クリストファー)高が3位に入賞した。今大会は試合ごとに貸与され、その経験が生きた」と語った。

スキー・全日本コンバインド大会、名寄コンバインドチャンピオン競技会

清水がともに3位

ノルディック複合の清水(商3・新井)が2大会で入賞し、市の名寄日進クロスカン

た名寄コンバインドチャンピオン競技会で3位。また、12月23日、同会場で行われた全日本コンバインド大会でも3位と、上々の滑り出しとなった。

全日本学生チャンピオン大会

女子5人制 フリー 新斗米が3位

全日本学生チャンピオン大会(ノルディック種目)が12月21日から23日まで、北海道音威子府村のチセネシクロスカントリコースで行われ、女子5人制フリーで新斗米美咲(人間科学3・花輪高)が17分26秒4で



サッカー・全日本大学選手権

昨年度王者 鹿屋体育大にPK戦で惜敗

鹿屋体育大にPK戦で惜敗

全日本大学サッカー選手権(以降インカレ)が12月19日から1月6日まで、ShonanBMWでも、PKで追い付かれ延びた。専大は昨年度のチャンピオンチームとして連覇をかけて臨んだが、準々決勝で敗戦。ベスト8で今年度の戦いに幕を閉じた。

スケート・全日本学生スプリント 小坂が男子総合5位の好成績



▶ 1年生ながら総合5位の快走を見せた小坂

12月6、7の両日、全日本学生スピードスケート競技選手権(スプリント)が群馬県総合スポーツセンター伊香保リンクで行われた。初日に気温が上がりに、リンクコンディションが悪い中、小坂龍(商1・白樺学園高)が1年次生ながら、男子総合(500m×2、1000m×2)で5位という好成績を残した。レース後、小坂は「悪条件の中で、も気持ちを切らさず、滑れたのは良かった。1月の日本学生氷上競技選手権で最高のパフォーマンスを見せられるよう、コンディショニングを



国際大会 出場選手

も気持ちを切らさず、滑れたのは良かった。1月の日本学生氷上競技選手権で最高のパフォーマンスを見せられるよう、コンディショニングを

ただ、守備に徹した相手にすぎなかった。PK戦にもつれこむ前に決着をつけなければいけなかった」と語った。